

■ 環境部会

〔 14番 鈴木伸穂議員 事務局長席に移動〕

鈴木伸穂事務局長

ご連絡いたします。まもなく本会議を再開いたします。ジュニア議員ならびに関係者の方はご着席ください。

〔全員着席〕

再開後の事務局長を務めます，14番 宇都宮高等学校の鈴木伸穂です。
再開後の議事運営は副議長が行います。
それでは副議長，ご着席願います。

〔 20番 桑崎貴弘議員 議長席に移動〕

桑崎貴弘副議長

副議長の桑崎貴弘です。よろしくお願いいたします。

ただいまから会議を再開いたします。引き続き一般質問を行います。

環境部会 22番 宇都宮清陵高等学校 本多輝彦さん，21番 宇都宮短期大学附属中学校 野村卓矢さん，11番 瑞穂野中学校 杉山翔一郎 さん。

22番 本多輝彦議員

議長，22番

21番 野村卓矢議員

議長，21番

11番 杉山翔一郎議員

議長，11番

〔 22番 本多輝彦議員 21番 野村卓矢議員 11番 杉山翔一郎議員 登壇〕

22番 本多輝彦議員

22番 宇都宮清陵高等学校 本多輝彦です。

地球温暖化防止について質問いたします。

初めに，エネルギーについてお聞きします。京都議定書が発効したのは記憶に新しいことだと思います。日本は合計14%減らす義務があります。それを達成するには，石油や石炭などの化石燃料

の使用をおさえることが必要です。事実、日本のエネルギーの石油依存度は約半分です。しかも、石油は中東からの輸入に頼っていますし、約40年でなくなってしまうと言われています。

そこで、私たちの提案としましては、化石燃料の使用を抑えるために、石油等を買うときに、代金に対して課税するというふうに環境税を導入するべきです。市として、何か考えはありますか。

また、太陽光発電などを普及させるために市は補助金制度を設けているそうですが、他の新エネルギーについては、普及するように何かとりくみをされていますか。また、太陽光発電の補助制度の宣伝をもっとするべきです。

また、電力会社側に新エネルギーを普及させるために、ある程度決められた割合を新エネルギーで発電したあかつきには、電力会社に、新エネルギー普及のための補助金を与えるなどの対策をとるべきです。

続いての質問は、森林についての質問です。

森林は、二酸化炭素の削減に大きく役立っていますが、森林を守るために何か対策をとっていますか。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

21番 野村卓矢議員

21番 宇都宮短期大学附属中学校 野村卓矢です。

公共交通機関利用促進による環境対策について質問します。

今、地球温暖化が進んでいます。現在、車を所有する割合が一家に二台というのです。そこから、慢性的な交通渋滞を引き起こし、排気ガスの影響でCO₂が増加し、余計温暖化が進んでいます。

そこで、私達が公共交通機関を使用することで、少しはCO₂削減につながると思います。具体的な方法としては、皆さんがバスを利用すれば車を使わなくて済み、駅などで、自転車の無料レンタルを行えば、利用者が増え、そして、電車などを利用する人も増えれば削減も充分可能です。

しかし、皆さん一人ひとりが意識をしないと、温暖化を抑制することは難しいと思います。それに、今まで車を利用していた人が急にバスや電車などを利用するというのはそう簡単なことではありません。

車を利用したいのであれば、不要なアイドリングをやめ、急発進、急加速、空ぶかしもやめ、駐車中はエンジンを切り、車内の冷暖房は、適正な温度で使用すれば、40km走行毎に1回、5分のアイドリングをしなかった場合と、10km走行毎に急発進、急加速、空ぶかしをしなかった場合を合わせて、年間約4,650円の節約、そして101.8kgのCO₂削減ができます。

そこで、次のような質問をしたいと思います。公共交通機関の利用促進によるCO₂削減において市では、どのような対策をとっていますか。また、温暖化に対する意識改革をするために、どのような方法をとっていますか。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

11番 杉山翔一郎議員

11番 瑞穂野中学校 杉山翔一郎です。

ゴミと水について質問します。

まず、最初にゴミ問題について質問します。

今、ゴミは大きな問題になっています。ゴミの減量は地球保護にもつながります。家庭から出るゴミで一番多いのが、生ゴミだということを聞きました。家でもできるリサイクルとしてコンポスト容器がありますが、宇都宮では普及されていますか。また、よりいっそう普及させるために補助金などを出したり、そのような事のPRをしていますか。

また、外を歩いて見ると、スーパーの袋が捨てられているのが多く見られます。みなさんがマイバッグを利用すれば、このような問題は減ると思います。マイバッグの利用を呼びかけるとともに、ペットボトルなどからのリサイクルで作れる使いやすいバッグを配ったり、安く販売すればよいと思うのですが、市の方ではどのように考えているのですか？

次に、水問題について質問します。

今年は各地で水不足が発生しています。また、家庭で使われる洗剤や工場廃水などによる水の汚濁も問題になっていますが、こうした問題による川の下流の地域にかかる影響を考えているのですか。また、市民に節水を呼びかけたり、洗剤を地球にやさしいものにするなど対策をとっているのですか。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

岡地和男環境部次長

議長，環境部次長

桑崎貴弘副議長

環境部次長

〔岡地和男環境部次長 登壇〕

岡地和男環境部次長

本多議員のご質問にお答えいたします。

「地球温暖化防止について」のうち、まず、「環境税について」ですが、環境問題を解決していくために使えるお金として、大変効果があると考えています。

現在、環境省において、国で取り組むべき施策として、その内容について検討しているところですが、環境と経済の調和も考慮する必要があると言われていていることから、本市といたしましては、この動きを見守っていきたいと考えています。

次に、「新エネルギーの普及について」ですが、まず、太陽光発電以外の新エネルギーの普及促進策につきましては、クリーンパーク茂原にごみ処理発電設備を設置するなど、新エネルギーを市の施設に率先して導入するとともに、参加・体験型のイベントとして、毎年10月に環境学習センターで開催している環境フェアで、低公害車や新エネルギー関連のパネルなどを展示して、市民への普及啓発を行っています。

次に、住宅用太陽光発電システム設置費補助制度につきましては、市の広報紙やホームページ、新聞への掲載などでPRしています。今後とも、より一層のPRに努めます。

次に、電力会社などにおける一定量以上の新エネルギー利用への支援策についてですが、電力会社などには、法律で一定量以上新エネルギーによる電気を供給するよう義務付けられていますので、市の支援に頼ることなく、電力会社は主体的に取り組んでいます。

なお、新たなエネルギーが開発された場合などには、市としての普及のための支援策について検討していきたいと考えています。

続きまして、野村議員のご質問にお答えいたします。

「公共交通機関利用促進による環境対策について」ですが、議員ご指摘のとおり、公共交通機関の利用促進は、温暖化の問題解決のための有効な手段の1つです。

まず、「公共交通機関利用促進による二酸化炭素削減のための対策」ですが、現在、本市では、公共交通機関の利用を促進するため、毎月1日と15日を「バス・鉄道利用デー」とし、利用デー専用の割引バスカードのPRを行うとともに、レンタサイクルの実施や、ノンステップバス導入の補助を行い、公共交通機関を利用しやすい環境づくりを行っています。

さらに、公共交通機関への利用転換を進める有効な対策として、郊外の駐車場に車を置いて、路線バスに乗り換える「パークアンドバスライド」の検討を行っているところです。

また、将来的には、二酸化炭素の排出量が自動車の7分の1と少なく、バリアフリーで高齢者にもやさしいLRTの導入など、公共交通機関が、市民の方々にとって、さらに利用しやすく、身近な移動手段となるような対策を考えています。

次に、「温暖化に対する意識改革のための方法について」ですが、温暖化を抑制するためには、一人ひとりが自分の問題として、取り組んでいくことが重要なことと考えています。

このため、本市では、現在、家庭や学校など身近なところから、環境問題に取り組んでいただくように、家庭版や学校版の環境ISOを実施していますが、今年度からは、節電や節水、アイドリリングストップといった行動を市民の方々へ広げていく、「もったいない運動」にも取り組み、温暖化防止への関心を持ってもらえるように努めています。

また、これからつくっていく、宇都宮市での地球温暖化防止のための計画の中で、市民の方々の温暖化防止への意識が高まるような取り組みを、さらに検討していきたいと考えています。

続きまして、杉山議員のご質問にお答えいたします。

「ごみと水問題について」のうち、まず、「コンポスト容器の普及について」ですが、ごみ減量は、環境を保護する上で大変重要なものの1つです。

このようなことから、市では、家庭から出る生ごみの減量に取り組んでいただくため、コンポスト容器や機械式生ごみ処理機の購入費の一部を補助しており、現在までに、約18,000世帯で設置されています。

また、広報紙や市のホームページなどで、補助制度のPRをしていますが、今後もさらに多くの市民の方にご利用いただけるようPRに努めます。

次に、「マイバッグの利用について」ですが、今年4月に、消費者である市民のみなさんと、販売する小売店・スーパーが協力して、マイバッグの利用に積極的に取り組むことができるよう、エコショップ認定制度をスタートさせました。

また、自治会で行なわれている、ごみの分別講習会や広報紙などで、マイバッグの利用を呼びかけるとともに、マイバッグコンテストの実施やイベントの際に、ペットボトル再生バッグを配布するなど、多くの人に利用していただけるような取り組みを行なっています。

次に、「水問題について」ですが、家庭や工場で使われた水は、川に流れ込み下流の地域で再び利用されることから、きれいな水にして川に戻すことが重要であると考えています。

このようなことから、きれいな水を守るため、環境にやさしい洗剤の使用など、市民に環境に配慮した行動をお願いするほか、工場に対しても排水の指導などを行っています。

また、水は限りある貴重な資源であることから、「節水のしおり」の配布や広報紙への掲載など、機会をとらえ、市民に水の大切さを呼びかけています。

今後とも、宇都宮の恵まれた水資源を後世に残せるよう努めます。

渡辺孝夫農務部次長

議長，農務部次長

桑崎貴弘副議長

農務部次長

〔渡辺孝夫農務部次長 登壇〕

渡辺孝夫農務部次長

本多議員のご質問にお答えします。

「地球温暖化防止について」のうち、「森林について」ですが、森林は、地球温暖化防止に大変役に立っているほか、土砂災害を防いだり、雨を地中に貯めて洪水を抑えるなど、たくさんの役割を持っています。

このため、本市では、古賀志や篠井など市が持っている森林について、雑草を刈ったり、混み合っている樹木を間引いたりしているほか、森林を持っている人に対しても適切に管理が行えるよう支援しています。

これからは、本市の貴重な財産である森林を、ボランティアなど市民の皆さんと力をあわせて、次の世代に引き継いでいけるよう守り育てていきたいと思っています。

桑崎貴弘副議長

以上で、環境部会の質問を終わります。